

第50回 多摩めぐり

多摩を深める

作家吉村昭の書齋を訪ね、あわせて多摩地域の東端エリアを散策する

2024
12/21(土)

三鷹市吉村昭書齋

歴史小説・ノンフィクションのベストセラー作家吉村昭は、昭和44年(1969)に三鷹市井の頭に居を構え、「この世で一番安らぐ場所」とする書齋で多くの名作を残しました。三鷹市は2024年3月にその書齋を移築して「三鷹市吉村昭書齋」として公開しました。

今回は、多摩地域に新しくできたこの文学者の書齋を訪ね、吉村昭の数々の名作の生まれた空間・空気に触れてみたいと思います。(館員による解説あり)

その後は、このエリアは多摩地域の東端部にあることから、多摩地域の東の境界ライン(昔の村境ライン)に沿って歩きます。また江戸時代の新田開発が今に残した地割の風景も楽しめます。

行程のほとんどは住宅街を歩くこととなりますが、昼食は善福寺池の畔でとり、水と樹木を眺めながらひと息つくプランとしています。

そして、単調な住宅街歩きに、ちょっとしたアクセントを添えたいと思います。当日のお楽しみに。



江戸時代の農道の末端



吉村昭の著作



多摩地域の最東端地点

多摩地域最東の駅
井の頭線・三鷹台駅

東京女子大学本館



善福寺池下の池



江戸時代の地割が住宅街に残る

◆コース◆

京王井の頭線・井の頭公園駅(集合) → 吉村昭書齋(館員の解説あり) → 三鷹台駅 → 井の頭通り → 多摩地区最東端の地 → 東京女子大学 → 善福寺公園(善福寺池下の池)【昼食】 → 北多摩郡・東多摩郡境 → 西三条通 → 中道通り → JR中央線・吉祥寺駅

【総歩行距離 約7km】

- ・集合日時 2024年12月21日(土) 午前10時
- ・集合場所 京王井の頭線 井の頭公園駅 解散は吉祥寺駅・午後3時頃を見込んでいます。
- ・ガイド 味藤 圭司
- ・費用 参加費1,300円(資料代・傷害保険料等および「吉村昭書齋」入館料100円を含む)
- ・募集人員 30名(先着順)
- ・持ち物 弁当・筆記用具・雨具・飲み物 他
- ・申込方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ
- ・申込と問い合わせ 「多摩めぐりの会」事務局Eメールアドレス⇒ tama.meguri@gmail.com
- ・当日の連絡先 090-7286-2124(味藤・みとう)

申込締切 12月14日(土)

※ 次回多摩めぐりは2025年3月を予定しています。